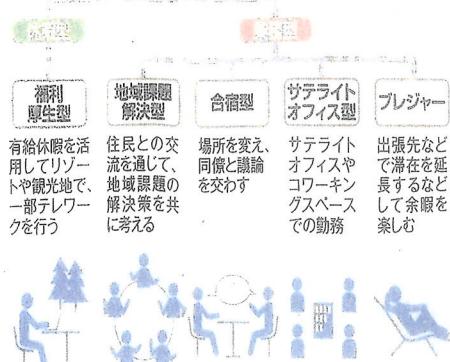


ワーケーションの主な类型

ワーケーション



※観光庁などの資料を基に作成



地域の課題関与

有給休暇を活用してリゾートや観光地で、一部テレワークを行う
地域の課題を解決策を考へる
場所を変えて、同僚と議論を交わす
サテライトオフィスやコワーキングスペースでの勤務
出張先などで滞在を延長するなどして余暇を楽しむ

▼観光楽しみ滞在先で仕事

ワーケーション誘致 道内自治体が力

会社のオフィスに縛られない働き方が注目されている。旅行を楽しみつつ、滞在先でテレワークなどを「ワーケーション」もその一つだ。新型コロナウイルス感染拡大の中、人の「密」を避けることができ、お盆や年末年始に集中しがちな旅行需要を分散する効果への期待も高まる。道内自治体も誘致に力を入れている。

「北海道の自然の中で仕事ができるってすばらしい」。今月上旬、富良野市などに5日間滞在した、山梨県で化粧品販売などを手掛ける会社経営者、宮武直子さん(49)は笑顔で話す。検温とマスクは欠かさず。昼間は市内外を主に観光で巡り、夜間はホテルに戻ってテクニカル業務に集中した。上川管内中富良野町では、観光農園「アーム富田」でラベンダー・オイルの蒸留方法を学び、「アロマエステの会社を経営しており、生産者

のオフィスに縛られない働き方が注目されている。旅行を楽しみつつ、滞在先でテレワークなどを「ワーケーション」もその一つだ。新型コロナウイルス感染拡大の中、人の「密」を避けることができ、お盆や年末年始に集中しがちな旅行需要を分散する効果への期待も高まる。道内自治体も誘致に力を入れている。

（50）は「コロナでテレワークが浸透したことが大きい。新たな来訪者の発掘につながる」と期待する。従業員が滞在中に地域の課題の解決に携わる活動をする、自治体側から宿泊費無料または割引となる支援を受けられる仕組みだ。

密回避、旅行需要の分散期待

・ジャパン（東京）は、ワーケーション先として上川管内下川町を含む全国の8自治体と提携した。従業員が滞在中に地域の課題の解決に携わる活動をする、自治体側から宿泊費無料または割引となる支援を受けられる仕組みだ。

宿泊費一部補助

富良野市は本年度、ワーケーションで訪れた市外の企業に対し、宿泊費などを一部補助する事業を始めたばかり。宮武さんは「この制度を利用して訪れたのが『プレジャー』」。（ビジネス）と「レジャー」のこと、で、「休暇型」と「業務型」の2種類ある「グラフィック」。関連して知られるようになってきたのが「プレジャー」。ビジネス」と「レジャー」のことで、出張先などで滞在を延長して余暇を楽しむことを指す。

業務と休暇が混じり合う場合、労務と休暇が混じり合う場合、労務の費用が気になるところだ。ソフトウエア会社「サイボウズ」（東京）や日本マイクロソフト（同）は、従業員自身がオンラインで労働時間を記録し、会社が把握できるようにしている。滞在費や交通費は全額自己負担とし、滞在先で事故などがあった場合の補償はケースごとに判断するといふ。

道は19年から誘致に関連する活動を始め、今年3月にポータルサイトを開設した。現在は56自治体の情報を掲載し、共用の仕事場「コワーキングスペース」の有無や、各自治体の助成制度、宿泊施設、特産品などを紹介している。

自治体側が意欲的な一方で、道内企業の関心の高まりはいまひとつ。北海道経済連合会（札幌）が5月に実施した調査によると「ワーケーションを制度化している」と回答した企業はゼロだった。同労働政策局部長の林純一さん（52）は「まずは自宅などで働くテレワークが普及しなければ、ワーケーションは広かりにくい」と分析する。

道のポータルサイトを担当する移住交流担当課長の三角靖枝さんは「職場以外での働き方があることや、道内自治体が受け入れを進めていくことを広く周知していきたい」と話す。